

腎臓・リウマチ・膠原病内科

【概要】

腎疾患やリウマチ・膠原病の患者は症状が多彩で、種々の臓器に障害をきたしうる疾患です。リウマチや膠原病は自己免疫疾患、あるいは免疫異常という名称から、とっつきにくいと思われるかもしれません。

しかし、しっかりした問診と理学所見、臨床的特徴を理解すると、早期診断、治療も比較的容易となります。

当科の対象患者は疾患の多様性もさることながら、薬剤によって高血圧、高脂血症、糖尿病の発症、増悪、骨粗しょう症などの副作用を引き起こすことも少なくはありません。総合内科の実力も要求されます。

またステロイド薬や免疫抑制薬の使用で、これらの患者さんは感染症なども起こしやすく、言いかえると、これらの患者さんを診ることにより、豊富な知識と以下に示すような治療の専門的なスキルを身につけることができます。

慢性腎臓病、末期腎不全〔血液透析(HD)、腹膜透析(PD)、腎移植〕、関節リウマチ、膠原病、骨粗しょう症の患者をとおして、診断と治療をできる医師をめざしてもらいます。

【研修内容と特徴】

【目標】

腎臓病、保存期腎不全、末期腎不全、腎移植、リウマチ・膠原病、骨粗しょう症に習熟し、これらの患者について他科からのコンサルテーションにも対応できる必要十分な知識とスキルを身につける。

総合内科専門医、腎臓内科専門医、透析専門医、リウマチ専門医の資格をとること。

日本全国、どこでも通用する臨床医の育成。

【腎臓内科】

沖縄県内でも多くの腎臓内科医が在席し、AKI、急性血液浄化療法、緊急透析、他科からのコンサルト、ネフローゼ症候群や RPGN などに迅速な腎生検を行い、早期診断・早期治療を行っております。

腎生検は年間 80 例～100 例で、数多くの症例を経験する事ができます。

血液透析患者さんは入院・外来を合わせて 190 人前後で、導入から慢性期、合併症、アクセス・トラブルまで満遍なく勉強できます。また、腹膜透析も 30 例を超え、腎代替療法外来とリンクした診療も当院ならではの特徴となっています。

腎移植は沖縄県の 7～8 割を当院が占め、移植内科医も複数おり、移植外科医との連携で移植

に関わっております。全てを網羅した腎臓内科医としても勉強が自ずとできる環境にあります。透析では井関先生も在籍され、学会発表も海外・国内含めて多数おこなわれるようになってきております。後期研修医の先生方と一緒に、総合内科の広くて深い知識と実践をもとに、将来、腎臓専門医としての確実な臨床力とアカデミックな要素も兼ね揃えた人材となるように協力を惜しみません。一緒に頑張っていきましょう。

【移植について】

当院では、腎移植において、内科と外科のそれぞれの専門性を活かし、患者様の治療に寄与できるよう、積極的に腎臓内科が関わっております。

保存期腎不全の段階から、腎移植後の管理もできる研修し、移植腎病理においては九州大学腎臓内科と連携を取っております。

希望者には、国内トップの移植施設等への国内留学も行っています。

【週間スケジュール】

月	火	水	木	金
新患カンファレンス(8:30~8:45)				
	全体回診 14:30~16:00		PD 外来 (午前)	そらまめ外来 8:30~17:00
			CKD 外来 (午後)	

【月間スケジュール】

久米島病院	月 2 回	外来・透析
	隔 月	リウマチ外来
県立宮古病院	月 2 回	透析回診コンサル

【特記事項】

【学会発表・論文】別 PDF にて

【お問い合わせ】

社会医療法人 友愛会

豊見城中央病院

臨床研修支援室 担当:川平

TEL:098-850-3811 FAX:098-850-3810
